



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2017.4月号



どちらも5月7日(日)まで開催!

写真は、特別展示室「男の子のお雛さま～五月人形～」コーナーの一部です。壁面に展示した迫力ある武者絵は、外幟のぼりや武者幟のぼりといって、端午の節句に庭先へ立てられた幟のぼりです。昭和の戦前まで、初節句のお祝いにさとかた里方さとかた（お嫁さんかお婿さんの実家）から贈られるお祝いは、鯉幟のぼりよりも外幟のぼりや内幟のぼりが中心でした。家紋と武者絵が染めぬかれた一対の長旗を両端に立て、中央には鐘馗しょうきが描かれた四半旗しはんぱたを立てます。内幟のぼりは外幟のぼりを模した幟のぼりで、座敷に飾るので座敷幟せうきともいわれました。内幟のぼりには槍やぶらや千成瓢箪せんなりひょうたんなどが飾られました。また、かつては兜かぶとや鎧よろいとともに様々な種類の五月人形ごごもが飾られていました。代表的な人形は、神武天皇じんむ、鐘馗しょうき、神功皇后じんぐうこうごうと武内宿禰たけのうちのすくね、加藤清正かとうきよまさ、金太郎、桃太郎です。

特別展示室では、昭和初期までの五月人形5組40体を展示しています。さらに4月1日からは、昭和10年から現代までの五月人形を常設展示室1階の寄贈品コーナーと古民家「相模の家」を会場にたっぷりと展示します。その後の五月人形の移り変わりをご覧ください。特別展示室の展示資料は会期終了まで変更しませんので、ひきつづき女の子のお雛さまもお楽しみください。

記念講演会

「節句人形の魅力」

講師：林 直輝氏（吉徳資料室長）

日時：4月8日（土）

14時～15時30分

「雛祭りと端午の節句」

講師：大島 一敏氏

（東玉人形の博物館副館長）

日時：4月30日（日）

14時～15時30分

※各回とも会場は博物館講堂

※参加自由（先着60名）

特別展展示解説

① 4月2日（日）

② 4月16日（日）

③ 5月6日（土）

時間：13時～13時50分

会場：特別展示室 参加自由

特別展 女の子と男の子のお雛さま 寄贈品コーナー 五月人形展 展示資料から

大正時代の京都のおくどさんと水屋



明治32年に京都市で生まれた諸木きみさんの内裏雛、大正時代のおくどさんと水屋。おくどさんと水屋道具は京都の特徴で、関東では見られません。ひな祭りに飾り、女の子たちは実際におくどさんで煮炊きをし、水屋道具を使っておままごとを楽しみました。女子の情操教育の一環でもあったといわれます。

昭和19年の端午の節句飾り



戦局が厳しくなると節句人形も配給制になりました。国府津から平塚市の平田人形店へ何度も通い、やっと手に入れられたという五月人形です。

(寄贈品コーナーで展示)

大人気! 堤 静夫・真理子 氏 寄贈の豆雛



堤さんご夫妻が昭和43年から集め続けた500組1263体の豆雛と豆雛道具が大人気です。

国際博物館の日・地質の日記念

博物館こどもフェスタ 2017

毎年恒例の博物館こどもフェスタ。今年は5月7日(日)に開催します。終日親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意しております。皆さまのご来館をお待ちしています。



おいしく学ぶキッチン火山実験



古代生活体験「火起こし」

<開催予定イベント>

おいしく学ぶキッチン火山実験

おはやしたいこ体験

水ロケットを打ち上げよう

おひなさま探し

古代生活体験「火起こし」

プラネタリウムこどもフェスタスペシャル

ぶたいうらたんけんツアー など

天文学の基礎を学ぶ

天文学入門講座「1等星と恒星の世界」

スター



今年度の「天文学入門講座」は、1等星がテーマ。名前は有名でも、実のところどんな姿をしているか、知らない星が多いかと思います。1年間をかけて、全天21個の1等星を順に解説しつつ、恒星について基本的な事柄を学びます。各回完結なので興味のある回のみでの参加でも大丈夫です。

- 日程：2017年 4月29日(土)「レグルス・アクルックス・ベクルックス／恒星の明るさ①」
 2017年 5月27日(土)「リギルケンタウルス・ハダル／恒星の明るさ②」
 2017年 6月24日(土)「アークトゥルス・スピカ／恒星の距離①」
 2017年 9月30日(土)「アンタレス・デネブ／恒星の距離②」
 2017年 10月28日(土)「ベガ・アルタイル／恒星の輝き」
 2017年 11月25日(土)「フォーマルハウト・アケルナル／恒星の色①」
 2017年 12月23日(土)「アルデバラン・カペラ／恒星の色②」
 2018年 1月27日(土)「リゲル・ベテルギウス／恒星の進化①」
 2018年 2月24日(土)「シリウス・カノープス／恒星の進化②」
 2018年 3月24日(土)「ポルックス・プロキオン／恒星の身体測定」

時間：15:30～17:00(開場は15分前) / 会場：講堂 / 定員：各回50名(当日受付・先着順)

スターウォッチング入門講座改め

★星を見に行こう！星空観察入門講座★



昨年度まで季節に一回のペースで開催していたスターウォッチング入門講座が装いを新たにスタートします。星を見に行きたいけど、どうすればいいかわからない！という方向けの講座。各回、その後に見られる天文現象のポイントも解説します。気になる回だけの参加もOK！

- 日程：2017年 4月1日(土)【内容】星の情報を得る／4月・5月の天文現象 など
 2017年 6月4日(日)【内容】いつ見る？どこで見る？／6月・7月の天文現象 など
 2017年 8月5日(土)【内容】星や星座の見つけ方／8月・9月の天文現象 など
 2017年 10月8日(日)【内容】星見にべんりな道具たち／10月・11月の天文現象 など
 2017年 12月3日(日)【内容】双眼鏡と望遠鏡／12月・1月の天文現象 など
 2018年 2月4日(日)【内容】星の文化を楽しむ／2月・3月の天文現象 など

時間：15:30～17:00(開場は10分前) / 会場：プラネタリウム室 / 定員：各回50名(当日受付・先着順)



プラネタリウム番組

宇宙から見た流星

4/8(土)～6/4(日)
までの土・日曜

皆さんは流星を見たことがありますか？

宇宙に浮かぶチリと地球がたまたま出会うとき、空には一筋の光が現れます。特に毎年同じ時期に出現する流星は流星群と呼ばれます。近年、アマチュア天文家の地道なネットワーク観測によって、流星の故郷について理解が進んでいます。また、国際宇宙ステーション(ISS)には千葉工業大学のカメラ「メテオ」が搭載され、宇宙からも流星が捉えられています。様々な視点から、流星の素顔に迫ってみましょう。

時間：

午前11時(5月13日以降の第2・第4土曜日を除く)、

午後2時

観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)

定員：70人

1	土	◎ 星を見に行こう！星空観察入門講座	プラネタリウム室	☆
2	日	◎ 春期特別展 展示解説	特別展示室	☆
3	月	休館		
4	火			
5	水			
6	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
7	金	古文書講読会	講堂	
		聞き書きの会	特別研究室	
8	土	◎ 春期特別展 記念講演会「節句人形の魅力」	講堂	☆
		天体観察会 流星分科会	科学教室	
9	日			☆
10	月	休館		
11	火			
12	水			
13	木			
14	金	古文書講読会	講堂	
		お囃子研究会	講堂	
		◎ 星を見る会「春の二重星を楽しもう」	科学教室・屋上	
15	土	◎ 星空と音楽の夕べ	プラネタリウム室	☆
		地域史研究ゼミ	特別研究室	
		東国史跡踏査団	野外 / 講堂	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
16	日	天体観察会 定例会	講堂・屋上ほか	☆
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
		◎ ろばたばなし	相模の家	
		◎ 春期特別展 展示解説	特別展示室	
17	月	休館		
18	火	天体観察会 太陽勉強会	特別研究室	
19	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	講堂	
20	木	古代生活実験室	科学教室	
		展示解説ボランティアの会	講堂	
21	金	古文書講読会	講堂	
22	土	お囃子研究会	講堂	☆
23	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆
24	月	休館		
25	火			
26	水	民俗探訪会	講堂	
27	木	石仏を調べる会	講堂	
28	金	古文書講読会	講堂	
		聞き書きの会	特別研究室	
29	土	◎ 天文学入門講座「レグルス・アクルックス・ベクルックス／恒星の明るさ①」	講堂	☆
30	日	◎ 春期特別展 記念講演会「雛祭りと端午の節句」	講堂	☆
		天体観察会 流星分科会	科学教室	

1	月	休館			情報C 星空調査隊
2	火				寄贈品C「五月人形展」
3	水				春期特別展「お雛さま」
4	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
5	金				
6	土	◎ 春期特別展 展示解説	特別展示室	☆	
7	日	◎ 博物館子どもフェスタ 2017	全館	☆	
8	月	休館			
9	火				
10	水				
11	木	古代生活実験室	科学教室		
		平塚石仏の会	野外		
12	金	古文書講読会	講堂		
		お囃子研究会	講堂		
13	土	東国史跡踏査団	野外 / 講堂	☆	
14	日	相模川の生い立ちを探る会	野外(雨天時科学教室)	☆	
		天体観察会 流星分科会	科学教室		
15	月	休館			
16	火	天体観察会 太陽勉強会	特別研究室		
		裏打ちの会	科学教室		
17	水	民俗探訪会	講堂		
18	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
19	金	古文書講読会	講堂		
		◎ 星を見る会	科学教室・屋上		
20	土	お囃子研究会	講堂	☆	
		◎ 星空と音楽の夕べ	プラネタリウム室		
21	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆	
		◎ 星のお兄さん爆笑プラネタリウムショー in ひらつか	プラネタリウム室		
		◎ ろばたばなし	相模の家		
22	月	休館			
23	火				
24	水				
25	木	石仏を調べる会	特別研究室		
26	金	古文書講読会	講堂		
		聞き書きの会	特別研究室		
27	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
		◎ 天文学入門講座	講堂		
28	日	天体観察会 定例会	講堂・屋上ほか	☆	
29	月	休館			
30	火				
31	水	月末休館			

銀河鉄道

プラネタリウム一般投影「宇宙から見た流星」(4/8/6/4)
 情報コーナー「ひらつか星空調査隊3年間のあゆみ」(5/7)
 寄贈品コーナー「五月人形展」(4/1/5/7)
 春期特別展「女の子と男の子のお雛さまー桃と端午の節句人形ー」(5/7)

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

春期特別展関連行事 詳細は1ページ

【自由参加の行事】

- ◎星を見に行こう！星空観察入門講座
詳細は3ページ
- ◎星を見る会「春の二重星を楽しもう」
日時：4月14日(金)午後7時～午後8時30分
場所：博物館1階 科学教室・屋上
内容：二重星とは、肉眼では1つにしか見えないが望遠鏡では2つが並んで見える星のこと。春の夜空に輝く多様な二重星を眺めます。
- ◎天文学入門講座「レグルス・アクルックス・ベクルックス／恒星の明るさ①」
詳細は3ページ
- ◎ろばたばなし
日時：4月16日(日) (1)午後1時20分 (2)午後3時
場所：常設展示室1階 古民家「相模の家」
内容：民家のいろいろばたで昔話を語ります。

【プラネタリウム】

- 定員：70人 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)
- 観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
- 全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退場はできません。
- ☆プラネタリウム一般向け番組「銀河鉄道の夜」
投影日時：4月1日(土)・2日(日)の午前11時、午後2時
内容：KAGAYA Studio制作の全天周CG番組「銀河鉄道の夜」。美しいCGで再現された「銀河鉄道の夜」の世界をぜひお楽しみください。
- ☆プラネタリウム一般向け番組「宇宙から見た流星」
詳細は3ページ
- ☆星空と音楽の夕べ「シューマンのピアノ協奏曲」
投影日時：4月15日(土)午後4時
内容：かのウルトラセブンで使われた衝撃のピアノ協奏曲とともに星空を鑑賞します。

あなたと博物館 45巻1号 通算484号
 発行 平塚市博物館 2000
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
 ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>

4月の休館日：3日、10日、17日、24日
 ※博物館からのお願い：博物館前の道路や駐車場が大変混雑しています。極力、公共交通機関でご来館ください。